

天 界

(第 22 卷)

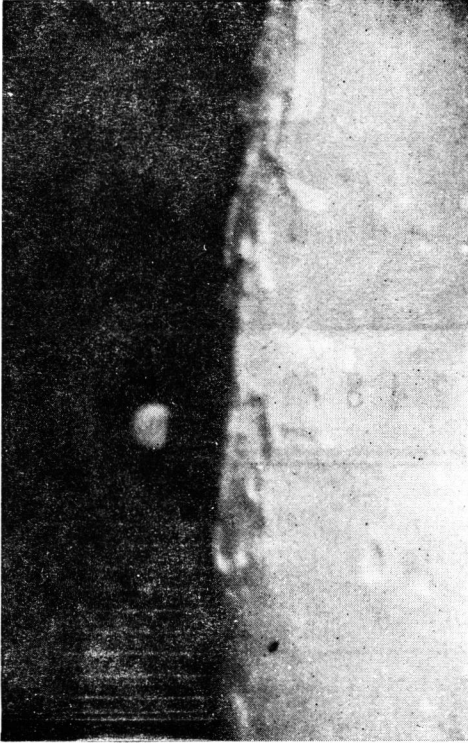
第 2 4 8 號

昭和17年第 2 號

本 號 要 目

口繪寫真 まさに掩蔽されんとする火星

太陽の距離が新しく決定された……………	山 本 一 清	41
太陽系の起原……………	クライド・フィッシャー	44
對日照の變化に就て(紀要 75)……………	醍 醐 正	50
大阪プラネタリウム……………	高 城 生	55
臺灣日蝕紀行(1)……………	井 本 進	56
日 蝕 雜 記(4篇)……………		58
星圖の歴史より……………	B・ブラウン	61
標準天文用語表(六)……………		65
觀測部月報：流星・遊星面・黃道光・彗星・太陽……………		66
會員よりのたより……………		57, 71
1942年一月と二月の天象……………	表紙第3頁	
質 疑(5件)……………		43, 64
正 誤 表……………		72



**まさに掩蔽されんと
する火星**

1941年十一月2日0時31分0秒

木邊成磨氏撮影

東亞天文協會
會員に關する報告

〔入會者〕	廣田元是(東京)	上野竹次郎(秋田)
福井茂一(滿洲)	浦上幸資(大阪)	森隆(四日市)
黒田彦治(東京)	尾高正敏(大阪)	砂田成男(大連)
池田一友(大牟田)	靜岡商業報國際理化係	
〔觀測部入部〕	京三中理化班	加藤裕成(名古屋)
森隆(四日市)	上野竹次郎(秋田)	福井茂一(滿洲)
野村修(島根)	長谷川一郎(神戸)	

(注意)：御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和16年分會費部費領收者芳名

會費(4圓)	小尾榮松(大阪)	本間亨(東京)
白井右友(京都)		
同(一部完納)	平山學(水戸)	飯高正義(東京)
京三中理化班	長谷川一郎(神戸)	上野竹次郎(秋田)
早瀬喜太郎(東京)	福井茂一(滿洲)	廣田元是(東京)
浦上幸資(大阪)	森隆(四日市)	尾高正敏(大阪)
舟楫宗一郎(京都)	砂田成男(大連)	七高造士館
小林義惠(東京)	河原崎俊男(京都)	
部費(一部完納)	森隆(四日市)	野村修(島根)
長谷川一郎(神戸)	京三中理化班	上野竹次郎(秋田)
福井茂一(滿洲)	加藤裕成(名古屋)	

昭和17年分會費部費領收者芳名

會費(4圓)	蔡章猷(臺北)	上野竹次郎(秋田)
浦上幸資(大阪)		
同(一部完納)	京三中理化班	尾高正敏(大阪)
砂田成男(大連)		
部費(一部完納)	京三中理化班	加藤裕成(名古屋)
森隆(四日市)		

(順序不同)

(領收通知に代ふ)

(16-10-31締切)

Contents of The HEAVENS, No. 248 (No. 2, 1942).

Occultation of Mars on Nov. 2, 1941 (Frontispiece); *Issei Yamamoto*, The Sun's Distance from the Earth was Newly Determined (41); *Dr. Clyde Fisher*, Origin of the Solar System (44); *T. Daigo*, On the Variations of Gegenscheins during Sept.~Dec., 1940 (50); *T. Takagi*, Note from the Osaka Planetarium (55); *S. Imoto*, Trip for Formosa Eclipse, i (56); Memoranda on the Solar Eclipse, Sept. 21, 1941 (58); *B. Brown*, History of Star Charts (61); *Astronomical Vocabulary*, vi (65); *Monthly Reports, Observing Section, O. A. A.* (66); Letters (57 & 71); The Heavens of Jan. & Feb., 1942 (Cover); *Queries* (43 & 64); *Errata* (72).

The Oriental Astronomical Association, Omi-Katata, Japan.

東亞天文協會
會員に關する報告

〔入會者〕 菊地 弘(千葉) 關西光學研究所(京都)
 樋口 寅次郎(川崎) K.A.R.天文研究會(大阪)
 及川 方平(岩手) 金谷 實(大阪)
 大宮 木豐(兵庫) 永尾 三郎(滿洲)
 金谷 實(大阪) 脇田 清嗣(大阪)

〔觀測部入部〕 中野 敏男(富山)

〔逝去〕 小宮 山京三(東京)

(注意) 御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和16年分會費部費領收者芳名

會費(4圓) 林 信夫(仙臺) 八木 澤誠治(青森)
 同(一部完納) 菊地 弘(千葉) 關西光學研究所(京都)
 樋口 寅次郎(川崎) K.A.R.天文研究會(大阪)
 下 淑(東京) 築 摩太郎(大阪) 及川 方平(岩手)
 石 彦治(東京) 宮 木 豐治(兵庫) 金 澤 實(大阪)
 伊 東 幸雄(廣島) 宮 木 豐治(兵庫) 大 柴 謙三(東京)
 井 口 卯三郎(滿洲) 本 小 林 義惠(東京)
 中 鶴 秀夫(東京) 小 秦 武彦(東京)
 部費(2圓40錢) 脇田 清嗣(大阪) 中野 敏男(富山)

同(一部完納) 石 彦治(東京)

昭和17年分會費部費領收者芳名

會費(4圓) 丸山 豐樹(堺) 宮 木 豐治(兵庫)
 中 澤 義明(大阪) 小山 泰三郎(東京) 井 口 卯三郎(滿洲)
 丸 山 源三郎(東京) 矢野 彰明(東京) 北 村 金學造(西宮)
 竹 谷 實(兵庫) 矢 野 彰明(東京) 秋 澤 昭二郎(高知)
 横 井 彖吉(東京) 本 田 實(滿洲) 樋 口 寅次郎(川崎)
 同(一部完納) 關西光學研究所(京都) 石 黒 彦治(東京)
 K.A.R.天文研究會(大阪) 大 柴 謙三(東京) 中 山 鶴 秀夫(東京)
 金 谷 實(大阪) 中 義明(大阪) 小 山 泰三郎(東京)
 部費(2圓40錢) 丸山 豐樹(堺) 中 野 敏男(富山)
 丸 山 學(水戸) 矢 野 彰明(東京) 北 村 金學造(西宮)
 山 源三郎(東京) 脇田 清嗣(大阪) 石 黒 彦治(東京)
 同(一部完納) 加 藤 裕成(名古屋) 舟 梶 宗一郎(京都)
 部費(3圓50錢) 澤 昭二郎(高知) 隆 剛正(横濱)
 秋 河 原 崎 俊男(京都) 長 溝 佳雄(旅順) 醍 醐 孝祐(福岡)
 竹 谷 實(兵庫) 星 野 實行(東京) 六 中 天 體 觀 測 班 (東京)
 西 川 村 淳彦(神戶) 中 島 盛行(大阪) 吳 祖 澤 秋(臺灣)
 北 藤 井 文三(長野) 小 中 川 登代雄(東京)
 山 泰三郎(東京) 野 口 廣(東京)
 矢 野 彰明(門司) 中 野 敏男(富山)

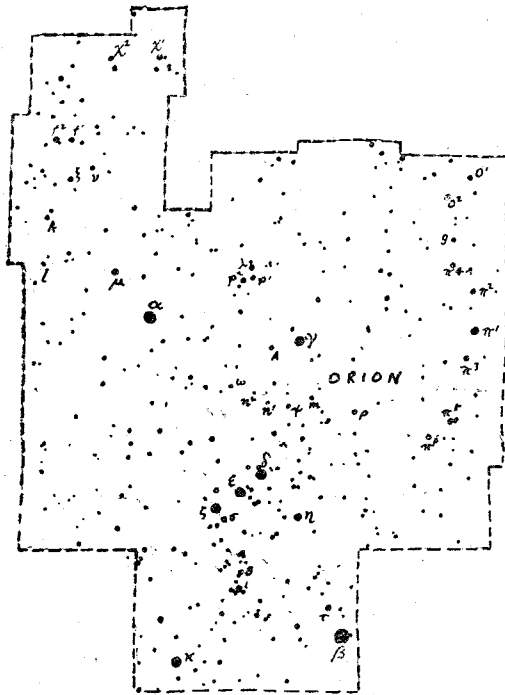
(順序不同)

(領收通知に代ふ)

16-11-30締切)

1942年 一月と二月の天象 (時刻は日本標準時)

戦亂の新年は明けて、一月6日は小寒、同21日は大寒、二月4日は立春、同19日は雨水の季節である。月は一月3日に満月、10日に下弦、17日に新月、24日に上弦、越えて二月1日に又満月、8日に下弦、15日に新月(舊の正月朔日)、23日に上弦となる。月は一月9日4時半頃海王星と極めて接近し、中部日本以南では掩蔽も見える。(尚、二月5日にも月は海王星に接近するが、日本では掩蔽は見えない。)水星は一月25日に東方極大離角となり、其の前後は毎夕の観測に適する。其後31日に停留、二月10日に内合し、暁天の星となる。金星は年初以來毎夕西天を賑はするが、一月18日に月と會合した後、急に逆行し、二月3日2時に内合(太陽の北 7° 、視直径は $62''$)して後、暁の星に轉ずる。土星は一月24日、天王星は二月3日、木星は同5日に何れも西留となり、其の後は順行となつて、地球からの距離は漸次大きくなるが、望遠鏡裡の観望には良い。海王星は一月2日東留となり、観測好期となる。年初の四分儀座流星群の観測は月光に妨げられるか?



冬の代表的星座
オリオン

東亞天文協會

—大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名—

會長	山本一清	(滋賀縣草津町大路井420; 同栗太郎上田上村桐生)
副會長	宮森作造	小槇孝二郎
理事	宮森作造	觀測部長 木邊成麿
專務理事	村中武夫	經理部長 宇野良雄
教育部長	高城本一	事業部長 大口周作
報導部長	山本一清	理事(無任所) 美田爲三

本部所在地 田上天文臺 滋賀縣栗田郡上田上
 事務局所在地 滋賀縣堅田局區內
 經營する天文台 倉敷天文台 岡山縣倉敷市
 大阪支所所在地 大阪市電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
 臺灣支部 臺北公會堂內
 黃道光觀測所 廣島縣沼隈郡瀬戸村

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小槇孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 倉敷天文臺 本田 實)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 京都市東三本木信樂 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 大津市鹿關町 堀井政三)
9. 遊星面課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文ブレテン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

御申込みは 滋賀縣堅田局區內 東亞天文協會 (電話堅田郵便局)
 (送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第248號 昭和16年12月28日印刷 昭和17年1月1日發行 (定價金40錢) 送料金5厘

編輯兼發行者 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513 { 東亞天文協會 (振替大阪56765)
 (代表者山本一清) (日本出版文化協會第2種會員(第220038番))

發行所 同上 眞美印刷所〔電西陣3702〕

印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入 橋本岩太郎

印刷者 同上 橋本岩太郎

配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社